



## 2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年7月11日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東  
コード番号 8181 URL <https://www.totenko.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,143	△6.0	139	6.4	132	10.6	120	—
2024年2月期第1四半期	1,216	49.4	130	—	119	—	△164	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	46.85	—
2024年2月期第1四半期	△64.15	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	10,603	6,343	59.8
2024年2月期	10,514	6,206	59.0

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 6,343百万円 2024年2月期 6,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

### 3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	△5.6	50	△58.7	40	△61.6	30	—	11.68
通期	4,600	△1.7	370	△12.9	350	△10.2	330	—	128.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	2,572,871株	2024年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	4,611株	2024年2月期	4,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	2,568,268株	2024年2月期1Q	2,568,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げの動き、個人消費の高まりが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、外食産業におきましては不安定な国際情勢、資源価格や物価の上昇、慢性的な人手不足の問題も加わり不透明な状況が続いております。

そのような状況下、当社は、前期に引き続き企業価値の向上、業績改善に取り組んでまいりました。

まず、営業面におきましては主要部門である大型宴会の受注を更に強化するために、店舗別の特性を踏まえた新たな宴会プランの作成および既存プランの見直し等を重点的に実施し、新規宴会をセールス、WEB両方面から積極的に獲得するよう取り組みました。

また、個人小宴会、グリル部門におきましてもWEBを駆使し、企画情報を多くのお客様に積極的に発信する営業展開を実施いたしました。

このような取り組みの結果、大型宴会では諸団体、企業、官公庁等の利用が増え、好調な売上実績を上げることができ、個人小宴会、グリル部門でも客単価が増加いたしました。

管理面におきましては、省人化・省力化を図るため、予約システム、管理システムの拡充を進め、更なるコスト削減と利益の拡大に努めてまいりました。

結果として、当第1四半期の売上高は、既存店前年比では8.6%増加いたしました。前期の店舗閉鎖の影響もあり前年同四半期比6.0%減の11億4,366万円、営業利益は前年同四半期比6.4%増の1億3,921万円（前年同四半期は営業利益1億3,085万円）、経常利益は前年同四半期比10.6%増の1億3,233万円（前年同四半期は経常利益1億1,970万円）、四半期純利益は1億2,032万円（前年同四半期は四半期純損失1億6,475万円）となりました。

なお、今後の経営環境の変化に対応し資本政策の柔軟性・機動性を確保するため、その他資本剰余金13億9,231万円を繰越利益剰余金に振り替えております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①飲食業

飲食業におきましては、上記の理由により、売上高は前年同四半期比6.3%減の10億9,573万円、営業利益は前年同四半期比8.6%増の1億1,873万円（前年同四半期は営業利益1億937万円）となりました。

#### ②賃貸業

賃貸業におきましては、安定的に賃貸収入を確保しております。売上高は前年同四半期比2.5%増の4,792万円、営業利益は前年同四半期比4.6%減の2,048万円（前年同四半期は営業利益2,147万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ8,899万円増加いたしました。

これは主に、企業や団体等によるお集まり及びご家族の食事会等のご利用が増加し、現金及び預金並びに売掛金が9,051万円増加したことなどにより流動資産が9,715万円の増加、固定資産が減価償却費の計上などにより815万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ4,803万円減少いたしました。

これは主に、借入金の返済によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億3,703万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益1億2,032万円の計上などによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期及び通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,221,362	1,260,514
売掛金	272,192	323,554
商品及び製品	5,763	8,675
原材料及び貯蔵品	54,104	55,220
前払費用	33,161	36,670
その他	3,210	2,311
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,589,493	1,686,647
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,500,736	3,465,684
土地	4,553,539	4,553,539
その他(純額)	72,241	72,464
有形固定資産合計	8,126,517	8,091,688
無形固定資産	258	6,557
投資その他の資産		
投資有価証券	170,704	195,875
差入保証金	369,790	366,036
その他	258,201	257,158
投資その他の資産合計	798,695	819,069
固定資産合計	8,925,471	8,917,316
資産合計	10,514,964	10,603,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	95,858	106,788
短期借入金	2,992,500	2,961,250
未払法人税等	13,500	5,716
賞与引当金	26,800	51,100
その他	368,604	322,625
流動負債合計	3,497,263	3,447,479
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
長期未払金	67,544	67,544
繰延税金負債	32,138	40,570
再評価に係る繰延税金負債	62,805	62,805
退職給付引当金	425,025	418,339
その他	23,305	23,305
固定負債合計	810,819	812,565
負債合計	4,308,082	4,260,045

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	9,083,780	7,691,465
利益剰余金	△1,392,314	120,326
自己株式	△10,175	△10,203
株主資本合計	7,731,289	7,851,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,796	80,535
土地再評価差額金	△1,588,204	△1,588,204
評価・換算差額等合計	△1,524,407	△1,507,669
純資産合計	6,206,882	6,343,918
負債純資産合計	10,514,964	10,603,964

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	1,216,226	1,143,662
売上原価	486,088	446,773
売上総利益	730,138	696,889
販売費及び一般管理費	599,286	557,673
営業利益	130,851	139,215
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	728	455
営業外収益合計	728	455
営業外費用		
支払利息	6,486	7,103
設備休止費用	4,632	—
その他	762	236
営業外費用合計	11,880	7,340
経常利益	119,700	132,330
特別損失		
固定資産除却損	—	9,718
減損損失	280,917	—
店舗閉鎖損失	159	—
特別損失合計	281,077	9,718
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△161,376	122,611
法人税、住民税及び事業税	3,373	2,285
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,373	2,285
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△164,750	120,326

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	飲食業	賃貸業	計
売上高			
宴会	647,796	—	647,796
婚礼	217,515	—	217,515
Grill	280,208	—	280,208
売店他	21,371	—	21,371
顧客との契約から生じる収益	1,166,891	—	1,166,891
その他の収益(注1)	2,568	46,767	49,335
外部顧客への売上高	1,169,459	46,767	1,216,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,169,459	46,767	1,216,226
セグメント利益(注2)	109,377	21,474	130,851

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食業」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことに関連して、減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は280,917千円であります。



当第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	飲食業	賃貸業	計
売上高			
宴会	650,295	—	650,295
婚礼	180,761	—	180,761
グリル	240,463	—	240,463
売店他	21,650	—	21,650
顧客との契約から生じる収益	1,093,170	—	1,093,170
その他の収益(注1)	2,568	47,923	50,491
外部顧客への売上高	1,095,738	47,923	1,143,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,095,738	47,923	1,143,662
セグメント利益(注2)	118,735	20,480	139,215

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期累計期間において、主要の宴会部門が好調に推移したことも有り、売上高が一定程度回復し、営業利益及び当期損益は黒字化となったものの、前事業年度までは継続して当期純損失を計上しており、通期の売上高、営業損益については不確実な状況が続いております。さらに、当第1四半期会計期間末の流動負債に計上している借入金残高2,961百万円は手元流動資金1,260百万円に比して高い水準にあることから、現時点においては継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社の当第1四半期会計期間末の現金及び預金の残高に加え、2020年6月の3,000百万円の当座借越枠の設定及びその後の契約更新により、合計で当座借越の未実行残高2,515百万円と当面の資金を確保しております。また、取引先金融機関に対して継続的な資金支援を要請していることから、重要な資金繰りの懸念はありません。従って、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

なお、当該事象又は状況の解消のため、コスト圧縮の対策を実行すると共に、EC事業の主力商品「おうちで東天紅」では四季折々の旬の食材を味わえるメニューなど商品開発に力を入れ、販路拡大に取り組んでおります。また、原油などのエネルギー資源や原材料価格の高騰を受け、メニューの見直しを行い、原価率の改善に取り組み、様々なSNSを使用し、独自のプランを多くのお客様に向け訴求を行っております。